

経済レポート

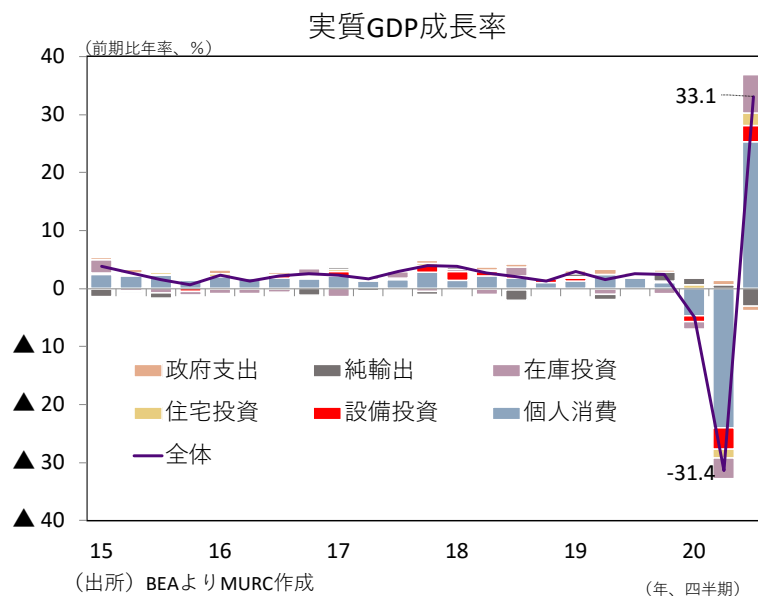
米国景気概況(2020年11月)

調査部

概況 ~ 景気は持ち直しの動きが続くも、回復ペースは鈍化の兆し

- 米国経済は持ち直している。7-9月の実質 GDP 成長率（速報値）は前期比年率+33.1%と、コロナ禍で急減速した前期からの反動もあり、統計開始以来最大の伸びを記録した。経済対策や経済活動の再開に伴い個人消費（同+40.7%）が大幅増加したほか、設備投資（同+20.3%）、住宅投資（同+59.3%）なども増加に転じた。
- もっとも、経済活動再開にともなう景気回復には鈍化の兆しもみられ、とりわけ、雇用の回復は緩慢なペースにとどまる。また、追加の景気対策の成立が遅れ、支援措置が失効する「財政の崖」が生じており、家計の所得減少や中小企業の資金繰り悪化が懸念される。さらに、新型コロナの新規感染者数が足元で再増加し、一部の州で経済活動の規制を再び強化しており、景気回復ペースが一段と鈍化する懸念があることに注意が必要であろう。
- なお、大統領選挙では、野党民主党のバイデン前副大統領が、次期大統領に就任する見通しとなった。一方、同時に行われた議会選挙では、現時点で上院で共和党が過半数を維持し、いわゆる「ねじれ議会」になる可能性が高いと見込まれている。当面の焦点は政権移行に向けた動きであり、新政権の人事が注目される。

図表1：実質 GDP 成長率の推移（速報値）



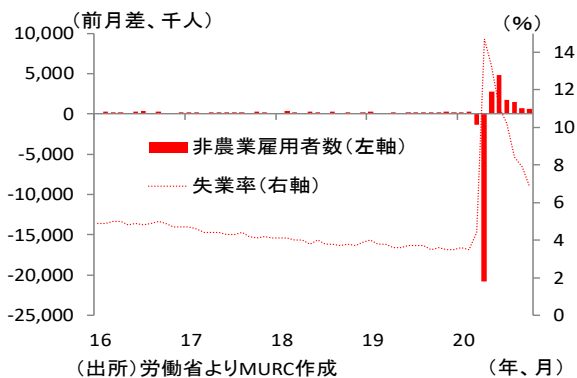
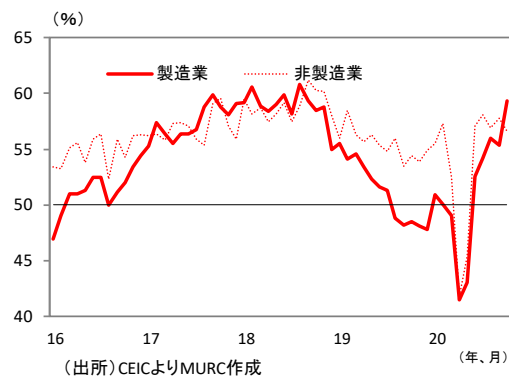
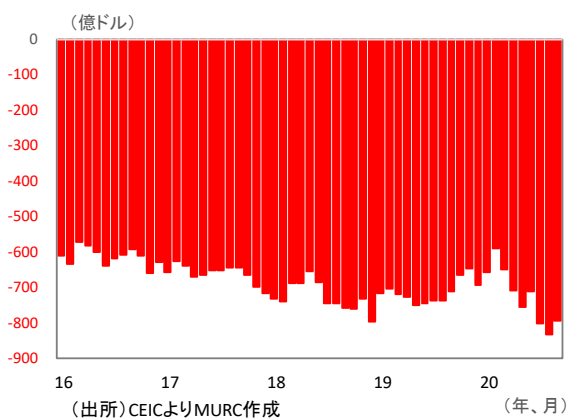
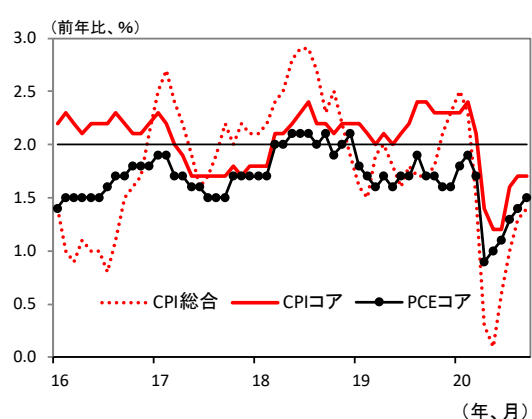
ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070, E-mail:chosu-report@murc.jp,

担当 細尾主任研究員 TEL: 03-6733-4925, E-mail:hosoo@murc.jp

【経済指標】

- 10月の非農業部門雇用者数は前月差+64万人と6ヶ月連続で増加し、失業率も6.9%と6ヶ月連続で低下した(図表2)。雇用者数は経済活動の段階的な再開にともない増加しているものの、増加幅は4ヶ月連続で鈍化したほか、失業率もコロナ危機前の水準(2月:3.5%)を大きく上回るなど、雇用回復は緩慢なペースにとどまっている。
- 企業部門では、9月の鉱工業生産が前月比▲0.6%と5ヶ月ぶりに減少した。自動車関連産業の生産が経済活動再開後の急回復から一服した。一方、設備投資の先行指標である9月のコア資本財受注は同+1.0%と持ち直しが続いた。また、企業の景況感を示す10月のISM景況感指数は製造業が59.3、非製造業が56.6と、いずれも好不況の目安となる50の水準を5ヶ月連続で上回っている(図表3)。
- 対外部門は、9月の財輸出(前月比+3.2%)は増加が続いた一方、財輸入は横ばいに留まり、貿易赤字(財)は▲794億ドルと、3ヶ月ぶりに赤字幅が縮小した(図表4)。国別にみると、最大の赤字国である対中国(▲243億ドル)や対メキシコ(▲107億ドル)、対フランス(▲11億ドル)などの赤字幅が縮小した。
- 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレーター上昇率は、9月に前年比+1.5%と春先の急低下から上昇基調にあるが、目標の2%を下回って推移している(図表5)。

図表 2. 雇用統計

図表 3: ISM 景況感指数

図表 4. 貿易赤字(財)

図表 5: 消費者物価


ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

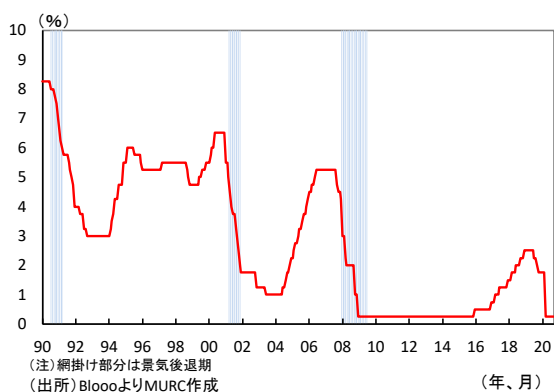
(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070, E-mail:chosa-report@murc.jp,

担当 細尾主任研究員 TEL:03-6733-4925, E-mail:hosoo@murc.jp

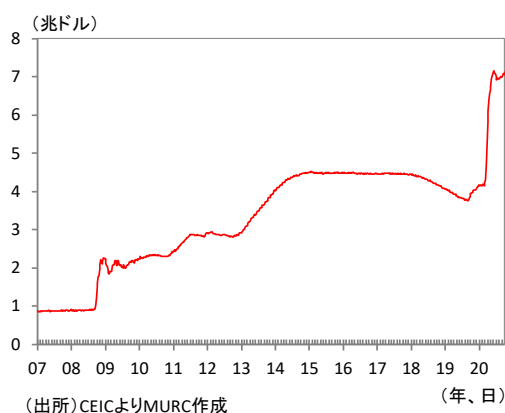
【金融政策・金融市場】

- FRBは、11月4日～5日に開催した連邦公開市場委員会（FOMC）で、ゼロ金利政策と量的緩和策の継続を決定した。会合後に公表した声明文では、今後の政策運営について、「物価上昇率が一定期間2%をやや上回ることを目標」とし、「この目標が達成されるまで、緩和的な政策スタンスを維持する」とするなど従来の方針を堅持した。パウエル議長は会合後の会見で、「最近の新型コロナウイルス感染再拡大を特に懸念している」と述べ、感染再拡大が景気に与える影響に警戒感を示した（図表6、7）。
- 金融市場では、ダウ平均株価は11月に入り大統領選挙のイベント通過で不透明が解消され、議会選挙でもいわゆる「ねじれ議会」になる可能性が高まり増税への懸念が後退したことなどから上昇ペースが加速している（図表8）。一方、長期金利は0.8%前後で推移している（図表9）。

図表6：政策金利



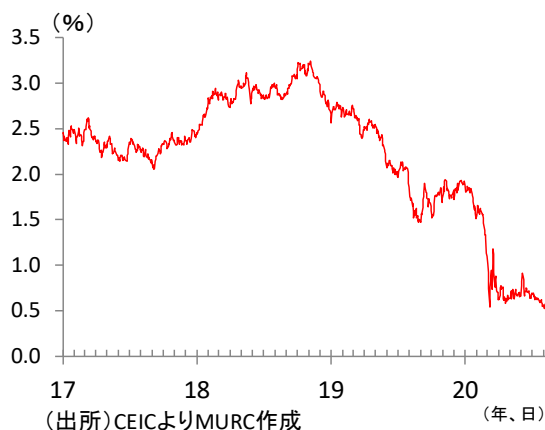
図表7：FRB総資産



図表8. ダウ平均株価



図表9：長期金利



ご利用に際して ー

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070, E-mail:chosa-report@murc.jp,

担当 細尾主任研究員 TEL: 03-6733-4925, E-mail:hosoo@murc.jp